

2025.

3

海外トピックス

静岡県海外駐在員報告

静岡県地域外交局



香港ホリデー&トラベルエキスポ出展 (2/20~23)

東南アジア

魅力的なインドネシア人材

人気の日本酒と日本産ウイスキー（シンガポール）

中国

新規就航地「香港」の観光展示会に出展！チケット優待販売も大好評！！

天皇誕生日レセプション（北京・青島）で各国VIPに静岡の日本酒を紹介

韓国

韓国国内最大の観光地・済州島 中国人観光客が回復 1,296台のエレベーター内で静岡県プロモーション動画を配信

日韓国交正常化60周年で東京タワーとソウルタワーが同時？ライトアップ

台湾

台湾高級中等以下学校国際教育交流連盟と教育交流に関する覚書を調印

観光客に湧く高雄、今年は「ちいかわ」が愛河湾に

東南アジア駐在員報告

駐在員：竹田敏彦

経 済

魅力的なインドネシア人材

2月8日、9日の2日間、インドネシア西ジャワ州バンドンにて、県内企業・事業所を対象とした現地人材の採用面接会を開催した。県内企業13社及び5つの社会福祉法人が、約2,300名の応募者の中から書類選考を通過した約170名の候補者と採用面接を行った。

参加企業や社会福祉法人の関係者に聞き取りを行ったところ、多くの方が、日本語能力を含むインドネシア人求職者の質の高さに驚いていた。2日間の面接会が終了した時点で、すでに10名以上の内定者が決まり、選考中の候補者が多くいることを考えると、今後、県内企業で働くインドネシア人の若者が増えることが期待される。

現在、西ジャワ州では中学卒業後に就職する若者が多く、大卒者は全体の25%強にとどまっている。さらに、大卒者の中でも企業が求めるIT人材などとのミスマッチが生じており、若年層の失業率の高さが深刻な課題になっているとのことだ。このような背景から、面接会には西ジャワ州政府の関係者も多数訪れ、静岡県に対する期待の高さがうかがえた。

一方、日本では少子高齢化が進み、静岡県を含め、能力の高い新卒者を継続的に採用できる企業はごく一部に限られている。人口2億8,000万人を擁するインドネシアには、日本語能力が高い若者も多く、今後も県内企業にとって人材面で重要な国となることは間違いない。県が主催する面接会により多くの県内企業に参加いただくよう、同様の事業を実施するベトナム、インド、ネパールとあわせて広報していく。

経 済

人気の日本酒と日本産ウイスキー（シンガポール）

日本酒造組合中央会が2024年の日本酒輸出の実績を発表した。輸出数量のトップ10は、米国、中国、韓国、台湾、EU及び英国、香港、カナダ、シンガポール、オーストラリア、タイとなり、東南アジアからは2か国がランクインした。金額ベースでは、シンガポールは世界7位（14.8億円）となり、東南アジア最大の日本酒輸入国である。

シンガポールは、県内産を含めて日本各地の日本酒が入手できる競争の厳しい市場だ。一般的に、シンガポールの消費者は、日本国内で人気のブランドを好み、獺祭などの銘柄が高い支持を得ている。一方で、日本酒愛好家の裾野は広がっており、多様な銘柄を楽しみたいというニーズも上昇している。

ウイスキーも同様に、認知度のあるブランドが好まれる傾向にあるが、日本酒市場と比較すると、日本産ウイスキーはまだ新しいジャンルであり、新商品への関心が高い。当所では、日本酒とともに、県内産ウイスキーの販路拡大にも取り組んでいる。県内ウイスキー生産者は多くないが、キリン（御殿場市）やガイアフロー静岡蒸留所（静岡市）の現地ディストリビューターと連携し、プロモーションを展開している。シンガポールでウイスキーを販売する上での課題は価格だ。輸送費に加えて、高額な酒税と9%の消費税が課されるため、もともと安価とは言えないウイスキーの価格がさらに上昇してしまう。そのため、消費者が高額な商品を購入する動機となるブランド構築が不可欠である。今後、富士山をはじめとする静岡の魅力的なイメージと商品を結びつけながら、さらなる販売拡大を目指し、現地パートナーと協力していく。

中国駐在員報告

駐在員：石川 祐介

経 済

新規就航地「香港」の観光展示会に出展！チケット優待販売も大好評！！

昨年12月に香港エクスプレスの香港－静岡線が就航したことから、上海事務所では香港最大級の観光展「香港ホリデー&トラベルエキスポ」に初出展した。

4日間の期間中に25万人もの来場者が訪れる中、現地で驚かされたのは日本に対する「知識の深さ」だ。中国大陸では「静岡県がどこにあるか？」といった情報から説明するのが一般的だが、香港では「大阪万博と合わせて静岡県を訪問しようとブースに立ち寄った。自分や友人達も10回以上日本を周遊している」との声や、「富士山静岡空港からレンタカーで大淵笹場に行きたいのでルートを教えて欲しい」など、より具体的な意見や質問が寄せられた。香港では旅行者の9割以上がFIT（個人旅行）で、若者のみでなく中高年層も自由に旅を楽しむのが特徴だ。

また、イベント開催中には、香港エクスプレスHPと静岡県ブース限定で香港－静岡線のチケット優待販売キャンペーンを実施し、4日間で200枚以上を売り上げた。県内のハイグレードホテルからは、「香港便の就航で香港からの宿泊者数が顕著に増えている」との声もあり、上海事務所では、この効果を県内に広く波及できるように、セールスを継続していく。



社 会

天皇誕生日レセプション（北京・青島）で各国VIPに静岡の日本酒を紹介

上海事務所は、在中国日本国大使館（2月25日）、在青島日本国総領事館（2月27日）が開催した天皇誕生日祝賀レセプションに出展した。

同大使館では、1,000名以上の各国VIPが招待される盛大なレセプションが開催され、本県は静岡県通商エキスパートと連携して静岡県ブースを設置、「静岡の銘酒試飲・展示コーナー」を設けて来場者をもてなした。本県の酒米（令和誉富士）と富士山の伏流水を用いた「富士錦酒造・純米大吟醸」は、すっきりした味わいが各国の来場者から好評で、「中国で最も人気の日本酒・瀬祭よりもすっきりして飲みやすい」との声や、「北京のスーパーでも購入可能と知ったので週末に購入したい」との声が寄せられた。

このほか、インターナショナル・サケ・チャレンジ2024で最高評価を得た「志太泉酒造・純米吟醸」や、伊豆の海底で半年間熟成させた「富士錦酒造・海の音」など、ストーリー性のある商品を説明すると、「静岡県で日本酒を楽しむための周遊コースを教えて欲しい」との声も寄せられた。消費力のある各国VIPに対して本県の食と観光の魅力を紹介する有効なPRの場となった。



韓国駐在員報告

駐在員：高橋 誠

経 済

韓国国内最大の観光地・済州島 中国人観光客が回復

2月11日、済州島で開催された天皇誕生日レセプションにブースを出展し、静岡県の地酒や練りわさびの試食試飲を行いつつ、本県の観光や産業のPRを行った。

今回、私は1年ぶりに済州島の繁華街・新済州を訪れた。街には中国語表記の看板が多く、韓国語よりも大きな字で表示する店も増えており大変驚いた。聞こえる声も中国語がほとんどで、「ここは中国なのでは？」とってしまうほど。調べたら、去年の中国人観光客は130万人超で、外国人観光客の68.4%、このうちクルーズ船によるものが前年比6倍の64万人であった。さらに台湾からの観光客が2.3倍の約15万人で2位に浮上、日本人観光客は3位に転落した。

とはいえ、韓国に来た時に、看板が日本語だらけだったらそれはそれで興覚めだ。中国人観光客はどう思っているのだろうか。ちょうどいいが一番いいのだが、果たして。

経 済

1,296台のエレベーター内で静岡県プロモーション動画を配信

広告には様々な方法がある。YouTubeやインターネットはターゲット指向性の高い広告も可能だが、不特定多数を対象に何気なく静岡のCMを観てほしい時はどんな方法が有効か。外にいて、意外とゆっくり映像を観てしまう機会はないか検討した結果、今回、マンションなど集合住宅やオフィステルのエレベーターに設置されたデジタルサイネージを使い、韓国向けに静岡県オリジナルPR動画広告を実施した。20～40代住民の割合が高いソウル市内の麻浦区、龍山区、永登浦区を含む江北エリアのエレベーター1,296台に2月から1か月間放映している。韓国は20～30階の高層マンションに住む住民が多く、エレベーターに乗る間は、意外とサイネージを見てしまうことも多い。地下鉄ではスマホに釘付けの時代。何気なく出会う静岡と富士山の景色を見て、次の旅行先に選んでもらいたい。

行 政

日韓国交正常化60周年で東京タワーとソウルタワーが同時？ライトアップ

2月15日、東京タワーとソウルタワーの同時ライトアップイベントが催された。これは日韓国交正常化60周年を記念して行われた日韓両政府主催の行事であり、1月にソウルで行われた日韓外相会談で合意されたものだ。事前に知人の韓国政府職員に「午後6時」と聞いていた私は、ソウルタワーが見える位置から点灯を見守っていたが一向に点かない。YouTubeで東京タワーの様子が見れないか調べてみたら、東京タワーはリアルタイムで韓国の国旗をイメージした白地に赤と青のライトが既に鮮やかに灯っていた。

結局ソウルタワーは6時30分過ぎに点灯。後で現場の式典の様子を関係者に聞いたところ、6時を10分弱すぎた頃式典が始まり、関係者の挨拶がしばらく続いたそうだ。実は2月の6時は東京では真っ暗だが、ソウルの空はまだ明るい。6時30分はようやく暗くなって来る頃。30分意図して時間をずらしたのだろうと思う。時差のない日韓だが、実はだいぶ昼間の時間帯が異なるという事実、政府関係者はいつ気づいたのだろう。気になるところだ。

台湾駐在員報告

駐在員：市川 美奈子

行政

台湾高級中等以下学校国際教育交流連盟と教育交流に関する覚書を調印

2月19日、台湾高級中等以下学校国際教育交流連盟（以下「連盟」）と、静岡県教育委員会、静岡県スポーツ・文化観光部の3者が教育交流の協力に関する覚書を調印した。静岡県庁で行われた調印式には、台湾教育部国民及学前教育署の彭富源署長など7名が台湾から出席した。また、台湾の関係者たちは県内の学校や教育旅行関連施設を視察し、今後の交流促進について静岡県側と活発な意見交換を行った。

今年度、本県における海外からの教育旅行受入は計70校で、そのうち23校が台湾からだった。弊所では静岡県との関係者と協力し、台湾からの教育旅行を積極的に受け入れている。

台湾の学校から教育旅行に関する要望が寄せられた際には、先方の希望時期・人数・具体的な交流希望などをヒアリングのうえ情報を整理して静岡県側に伝え、静岡県側と協力して受入校の調整を行っている。受入校が決定したら、学校交流に関する諸々の調整（当日の受入の流れの調整、交流を実施する学年や授業内容の調整、昼食の要否、部活動見学の有無など）に加えて、宿泊施設の部屋割り決定、来訪者全員の食事や生活上のアレルギーの有無などの情報収集を行う。非常にきめ細かい情報収集と抜け漏れのない手配が必要となるため、調整には、何度ものやり取りが必要となる。また、県内の学校から台湾の学校と交流したいとの要望が寄せられた場合には、同じく弊所で学校側の希望内容を整理し、台湾の学校とのマッチングを行っている。

このような数々の調整を経て無事に交流が行われ、台湾と静岡県との関係者から「実りのある交流だった」との感想が寄せられると、感激もひとしおだ。

今回の覚書締結を契機として、台湾と静岡県との教育交流がより一層活発になることを期待したい。



【覚書調印式の様子】

経済

観光客に湧く高雄、今年は「ちいかわ」が愛河湾に

台湾南部の最大都市である高雄市は、2024年、2年連続で「台湾で最も観光客が訪れた県市」に選ばれた。年間6,794万人の観光客が高雄を訪れたと報道されている。

その背景には、高雄市政府が観光客誘致に関する投資を積極的に行っていることにある。高雄にある「高雄国家体育場」は5万5千人の観客が収容できる大型スタジアムで、台湾内外の著名なアーティストがライブを行う際の定番の会場になっている。日本のアーティストでは2024年に「ONE OK ROCK」がライブを行い、世界各国から多くのファンが高雄に押し寄せた。

また高雄市政府は、市内中心部の愛河湾に2年連続で大型バルーンを誘致した。2024年はラバーダック。2025年は台湾でも大人気の「ちいかわ」のキャラクター3体。「ちいかわ」誘致が高雄にもたらした経済効果は100億元（約500億円）以上だと言われている。

今、非常に勢いがある高雄。台湾を訪れた際には、是非高雄にも足を延ばしてみしてほしい。



【愛河湾に浮かぶ「ちいかわ」】

静岡県 海外駐在員事務所

●東南アジア駐在員事務所（シンガポール）

住所	12 Eu Tong Sen Street, #04-168 The Central(SOH02), Singapore 059819		
電話	+65-6221-0432	FAX	+65-6221-0477
URL	http://shizuoka.sg/		
E-mail	fujinokuni@shizuoka.sg		

●中国駐在員事務所（上海）

住所	上海市長寧区延安西路 2201 号 国際貿易中心 2611 室		
電話	+86-21-6275-0909	FAX	+86-21-6275-8856
URL	http://www.shizuokash.com		
E-mail	ilfjs@shizuokash.com		

●韓国駐在員事務所（ソウル）

住所	韓国ソウル特別市中区武橋路 21 The Exchange Seoul ビル 6 階		
電話	+82-2-777-1835	FAX	+82-2-777-1837
URL	http://shizuokaseoul.com/ https://blog.naver.com/goshizuoka		
E-mail	shizuoka@shizuokaseoul.com		

●台湾駐在員事務所（台北）

住所	台北市中山区南京東路二段 137 号 連邦商業ビル 13 階		
電話	+886-2-2508-1515	FAX	+886-2-2503-5303
URL	http://www.shizuoka.org.tw/		
E-mail	shizuoka.tw@gmail.com		

<日本での連絡先>

静岡県 地域外交局 地域外交課
 住所：静岡市葵区追手町 9-6
 電話：054-221-2572 FAX：054-221-2542
 E-mail：kokusai@pref.shizuoka.lg